

【市長メッセージ】

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行について

5月8日から、新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行します。

医療提供体制は、幅広い医療機関による診療や入院受け入れなど季節性インフルエンザ等と同じになりますが、病原性や感染力は変わりません。引き続き、高齢者等重症化リスクの高い方に感染を広げないことやご自身を感染から守るため、マスクの着用が効果的な場面では、着用を推奨します。

また、手洗い等の手指衛生や、こまめな換気等は、日常的な感染症対策に有効であり、ワクチン接種についても、引き続き取り組んでいくことが大切です。

1 基本的な感染防止対策の継続

マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることが基本です。ただし、ご自身を感染から守るため、混雑した場所に行くときは、マスクの着用が効果的です。また、周囲の人に感染を広げないため、受診時や医療機関・高齢者施設等への訪問時、通勤ラッシュ等混雑した場所では、マスクの着用を推奨します。

2 新型コロナウイルス感染症の相談体制

感染不安で受診先に迷った場合は「受診案内・相談ダイヤル (084-928-1350)」の活用を、また、感染判明後、自宅療養中の心配ごと等は「療養者相談ダイヤル (050-2018-5812)」の活用をお願いします。

3 PCRセンターの終了

5月7日までの受付で終了となります。5月8日以降に感染不安がある場合は市販の検査キットなどを活用し、症状がある場合には、必要に応じてかかりつけ医へ受診をしてください。

4 ワクチン接種の検討

5類移行後も、8月末までは高齢者や基礎疾患がある人など重症化リスクが高い人や、医療機関・介護施設等の従事者に限り、新型コロナワクチンを接種できます。また、9月以降はすべての人が接種の対象となります。無料で接種できますので、検討をお願いします。

福山市では、市民生活や経済の回復に取り組んでまいりますので、引き続き、市民の皆さまにはご理解とご協力をお願いします。

2023年（令和5年）5月2日

福山市長 枝広 直幹